他教科の学習や読書に生きるワークシートの工夫

―六年「文章の構成を考えながら・宇宙からツルを追う」の指導を通して―

愛知県一宮市立大和東小学校
長尾　幸彦

はじめに

説明文の学習は、児童が自力で資料を読むことができるようになるための技能を身につける機会となるべきである。これが、本単元の指導のコンセプトである。六年生の学習として、これまで学んできた基礎的な技能の上に、他教科の学習や日常の読書に生きる学習は、大変意義があると考えた。

高学年になれば、調べたことを発表したり活用したりするために、資料を積極的に読まなければならない。そうした際、内容に合わせた整理の仕方で読み解いていく技能を身につけさせることが必要だと考えた。また、読書した際に、自分の力で読解する方法を身に付けることも不可欠である。そこで、段落ごとに要点をまとめる一般的なワークシートではなく、段落の内容に合わせてまとめ方を変え、いろいろな読み取り方を学べるシートになるよう工夫した。

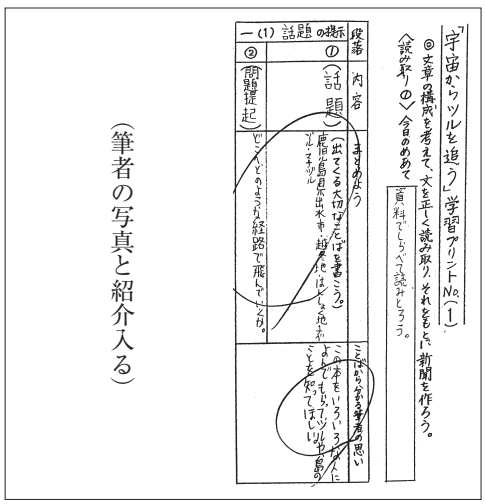
読み取り方を学ぶシートの実際

シート1【段落1（1）話題の提示】

資料を調べて読み取る。

説明的な文章の冒頭部分は、内容の概要を紹介する大切な部分である。キーワードや筆者の目がどこに向いているかが分かる部分である。この学習材(注)でも、ツルの越冬地である出水市や渡りをする動物であることなど、内容の理解に大きくかかわる言葉が出てくる。

内容をまとめると同時に、筆者を紹介したプリントを用意し、筆者について理解を深めさせた。次に、キーワードを資料で調べさせた。出水市のホームページでは、おびただしい数の鶴が集まっている様子が写真で紹介され、「一万羽ものツル」と書かれた文字の意味を具体的に感じることができた。説明文にも筆者の思いが大きく影響していることや読み始めの段階で内容に関する資料を読むことの大切さを伝えた。


「宇宙からツルを追う」学習プリントNo.(1)
◎文章の構成を考えて、文を正しく読み取り、それをもとに、新聞を作ろう。
〈読み取りの〉合のめて
資料でしらべ読みとろう。

段落の話題の提示	内容
(1)話題	まとめよう
◎問題提起	(出てくる大切なことばを書こう) 鹿児島県出水市・越冬地はどうなっているか。 ツル・ネッサル どうしてとりはるばる遠くから飛んでいるのか。

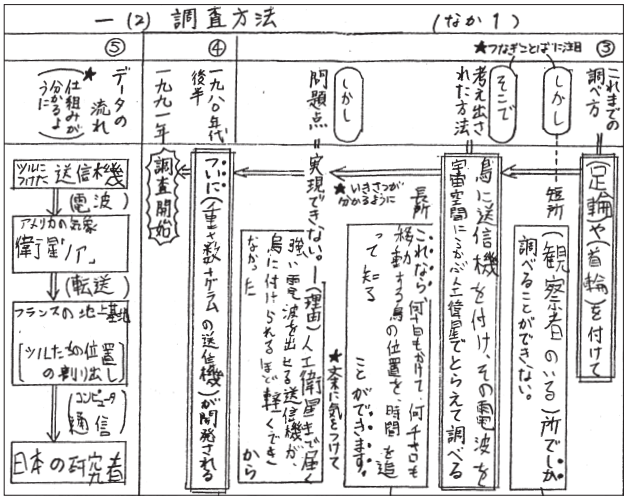
ここからみる筆者の思い
この本をいろいろな人によんでもらってツルや自然のことを知ってほしい。

（筆者の写真と紹介入る）

シート2【段落1（2）調査方法】

流れ図に示して読み取る。

ツルの調査方法の変遷やその仕組みについて書かれたこの段落は、事実を確かめながら調査方法を流れ図でまとめた。教科書の挿絵にも、絵と言葉でまとめてあるが、流れを正確に読み取るために、シートの上段に指示語



や概要も分かる欄を作った。また、調査方法を示す言葉を抜き出させ、矢印で結んで調査の仕組みを整理させた。文章の内容を視覚的に理解させ、流れ図に整理してとらえる意義を伝えることができた。

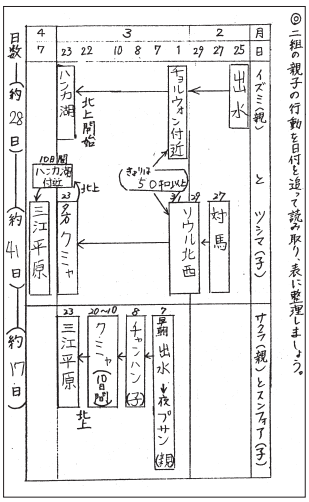
シート3【段落2（1）ツルの移動経路】地図に示して読み取る。

調査によって分かったツルの経路について説明されている段落である。前半で、大まかな経路が二つある事実、後半で、二組の親子のツルの具体的な経路が書かれている。

学習材の文章を掲載し、文章を経路のまとまりごとに区切って記号をつけ、地図上に矢印をつけながら記号をつけさせた。地図をプロジェクタで投影し、記入しながら確かめた。移動の距離や方向、地名の位置を空間的、視覚的にとらえさせることができた。内容を空間的に表す利点を伝えることができた。

シート4【段落2（2）ツルの移動経路】表に表して読み取る。

シート3の後半を、表という別の形でまとめさせた。二組の親子ごとに、時系列に従って表にする。時系列に従って表すとそれぞれのツルが飛んだ期間や時期の違いが分かる。調べたい内容によって、空間的に表すのか時系列で表すのか選択する必要があり、それぞれの利点を生かして選ぶ大切さを伝えることができた。



おわりに

読解力を高めるためには、読解の方法を知ることが重要である。そしてそれはいつも一通りではない。今回とった方法の他にも、要約の方法を学んだり、文章構成を学んだりする学習もある。それは、テキストで学ぶための方法であり、テキストの性質や、調べる目的によって変わっていくものである。どんな場合にどの方法をとるのかを意識させて学習に取り組ませることが大切だ。その結果、読解力は高まり、他教科の学習で、さまざまな種類の文章を読んで調べるときにまとめ方を自分で変えられるようになる。また、説明的な文章を読書したとき、理解をより深めるために、内容の整理が効果的に行えるようになる。今後は、文学の読解にも役立つシートを工夫していきたい。

注

東京書籍・平成14年度版『新しい国語　六上』

ながお　ゆきひこ　一宮市立大和東小学校に勤務。平成十三年度、全国実践国語フォーラムで、「調べる力を育てる言語活動」というテーマで提案。現在は、一宮市小学校国語教科等指導員を務める。